

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 電気電子工学コース

教授

曹 梅芬

取 組 状 況	
教育	<p>1. 新カリ対応実験を立ち上げ 新カリ対応実験「LabVIEWとQUBE-Servoを用いた制御系実験」(電気電子工学実験実習Ⅲ)を立ち上げ、指導書を作成した。</p> <p>2. 追加課題の作成や見直し 昨年度から新規に担当している授業「制御工学」では、作成した追加課題の見直しを行い、課題を授業中や補講時間で解説することにより、教育効果の改善を図った。</p> <p>3. 資格試験のための補講 放課後及び夏期休業中、電験3種の補講(20時間)を行った。</p> <p>4. 国際学会への論文投稿、発表の指導 特別研究の指導では、課題発見、解決手法の検討、シミュレーション・実験方法などのほか、学会発表、特に英語論文の書き方、英語のプレゼンテーション方法の指導を行った。</p> <p>5. ゼミ・卒研の指導 課題発見と解決能力及び研究方法や論文の書き方など技術者として必要な基礎知識を身につけられるようにゼミ・卒研を指導した。</p>
研究	<p>・国際学会論文(査読あり)の執筆 T. Kaneko, M. Cao, "Human Fall Detection Using CHLAC Features with Skeletal Image Sequences", (IEEE-IRIS2016)</p> <p>T. Kaneko, M. Cao, "Human Fall Detection using Eigenspace Method with Skeletal Image", (SICE-2106)</p> <p>・紀要の論文の執筆 曹, 金子, "時系列骨格画像のCHLAC特徴量を用いた人の転倒検知", 研究紀要第11号(2017.3)</p> <p>・学会発表 金子, 曹, "Kinectを用いたCHLAC特徴量による人の転倒検出", 電気学会全国大会(2017.3)</p>
社会貢献	<p>1. 出前授業の実施 出前授業「電気はどうやってつくられる」を新宿西戸山中学校で実施した。</p> <p>2. 研究分野・成果のアピール 教員シーズ集などを通じて、研究分野・成果をアピールし、企業からの受託研究や技術相談などの要請に対応できる体制を整えた。</p>